

令和 6 年度 部局目標事業シート

部局名	教育部まなび推進局
-----	-----------

優先順位	事業名	区分	所属名
No.1	市史編纂事業	(既存・拡大)	文化財課
No.2	北部地域体育館長寿命化改修事業	(既存・拡大)	生涯学習課
No.3	蔵書整備事業	(既存・維持)	市民図書館

令和 6 年度部局目標事業シート

No. 1

事業名	市史編纂事業	(既存・拡大)	部局名	教育部まなび推進局
			所属名	文化財課

◆事業の位置付け (政策体系コード: 03160203)

政策	03	誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)
施策	16	歴史文化財の保存と継承・展開
基本事務事業	02	文化財の保護・啓発
事務事業	03	市史編纂事業

◆事業の概要

R 6 年度実施内容	・市史編集委員会委員及び専門部会委員の選任等組織・体制を整備し、同事業に着手する。関連事業として、事業を効率的に進めるため、五位堂鋳物師資料調査や史料調査を委託事業として実施する。
期待できる効果 (展望)	・市史編纂事業は、膨大な資料の収集と整理、調査研究を効率的に進める必要があるため、文化財の各分野に専門に精通した専門委員を選任することにより、効率的に市史の執筆・編集を進めることができる。

◆事業実施にかかるコスト

(単位:円)

(会計名)		予算額	経費内容
一般会計		R 6 年度	
歳出	事業費(自動計算)	3,707,000	
財源内訳	特定財源(自動計算)	1,910,000	
	国県支出金		
	地方債		
	その他	1,910,000	
一般財源		1,797,000	

・報酬:市史編さん委員会委員報酬 936,000円
 ・需用費:消耗品費109,000円、食糧費11,000円
 ・役務費:通信運搬費 21,000円
 ・委託料:五位堂鋳物師資料調査委託料 1,910,000円 (ふるさとまちづくり基金) 史料調査委託料 300,000円
 ・使用料及び賃借料:施設使用料10,000円
 ・備品購入費:施設用備品(博物館資料室の空調機器新設) 410,000円

令和 6 年度部局目標事業シート

No. 2

事業名	北部地域体育館長寿命化改修事業	(既存・拡大)	部局名	教育部まなび推進局
			所属名	生涯学習課

◆事業の位置付け (政策体系コード: 03150201)

政策	03	誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)
施策	15	生涯学習とスポーツ活動の充実
基本事務事業	02	スポーツ活動の充実
事務事業	01	スポーツ活動支援事業

◆事業の概要

R 6 年度実施内容	<p>北部地域体育館は、ここ2年の平均稼働率は70%を超える高い水準となっており市民のスポーツの場として貴重な役割を果たしている。また災害時には指定緊急避難場所に指定されており、地域の重要な施設となっている。しかしながら、同体育館は1978年に建設され、築44年が経過しており、施設の老朽化が進んでいる。特に床の老朽化や損傷が激しく、補修を繰り返しているものの、怪我につながりかねない損傷状況(傷、ささくれ、すき間 等)であり早急な対応を求められている。また壁やトイレ(和式トイレ)なども老朽化が激しく、ひび割れなどが散見される状況である。そこで空調の設置、床の改修等、長寿命化工事を行うことにより、市民のスポーツ環境の向上を図る。</p>
期待できる効果(展望)	<ul style="list-style-type: none"> 市民のスポーツ環境及び利便性の向上 稼働率向上

◆事業実施にかかるコスト

(単位:円)

(会計名)		予算額	経費内容
一般会計		R 6 年度	
歳出	事業費(自動計算)	164,200,000	
財源内訳	特定財源(自動計算)	138,100,000	
	国県支出金		
	地方債	138,100,000	
	その他		
一般財源		26,100,000	

工事請負費160,000,000
監理委託料4,200,000

令和 6 年度部局目標事業シート

No. 3

事業名	蔵書整備事業	(既存・維持)	部局名	教育部まなび推進局
			所属名	市民図書館

◆事業の位置付け (政策体系コード: 03150301)

政策	03	誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)
施策	15	生涯学習とスポーツ活動の充実
基本事務事業	03	図書館機能の充実
事務事業	01	資料情報提供事業

◆事業の概要

R 6 年度実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本や巡回文庫用資料を中心とした児童書の更新(通年) ・一般的に古くなっている辞典等のレファレンス図書の継続的な更新(通年) ・図書館利用に障がいがある方向け資料の整備(通年)
期待できる効果(展望)	<ul style="list-style-type: none"> ・未就学児を中心とした読書意欲の喚起と図書館利用の促進 ・蔵書の新陳代謝の促進で新しい情報や知識の提供が可能となり、利用者の課題解決に資する。 ・図書館利用に障がいがある方の読書環境整備と図書館利用に係る障壁の軽減。

◆事業実施にかかるコスト

(単位:円)

(会計名)		予算額	経費内容
一般会計		R 6 年度	
歳出	事業費(自動計算)	10,000,000	
財源内訳	特定財源(自動計算)	0	
	国県支出金		
	地方債		
	その他		
一般財源		10,000,000	